

## しばたの心継承プロジェクトへの取組をととした子どもたちの成長

教頭 平野 秀穂

新発田市では、「しばたを誇りに想い、愛する気持ちをもって夢や希望に向かって学び続ける子ども」の育成を願い、しばたの心継承プロジェクトを行っています。これまで新発田で生まれ、大切にされてきた風土、歴史、自然、産業等を教材として、それらを支えている人々とのつながりを子どもたちに感じ取らせながら、新発田への愛着と人に対する敬意や誇りを形成していく取組です。

藤塚小学校では、今年度地域の皆様のお力添えをいただきながら、下記のように教育活動を行っています。今回の学校便りでは、その取組の一部をご紹介します。

1年生は、栽培活動で用いる教材園の整備にお力添えをいただきました（他の学年も使わせていただきました。）。1年生の子どもたちにとって、小学校での初めての栽培活動をサポートしていただきました。

2年生は生活科の町探検で地域の施設やお店で仕事の内容や工夫をうかがい、仕事への思いに触れました。自分たちの地域をよりよく知ることとおして地域への愛着を高めることができました。

5年生はこれから松塚漁港についての調べ学習で、地域の方からお力添えをいただく予定です。

6年生は、総合的な学習の時間の学習で、地域の食文化の代表として「のっぺ汁」を取り上げ、地域の皆様からのっぺ汁づくりの講師をしていただきました。なお、3年生と4年生の取組は2面に掲載しております。

全校では、「弁当の日」（3面に掲載）を定め、子どもたちが弁当づくりにかかわることで、食にかかわる方の考えや文化に触れることができました。

これらの取組には、どなたにお願いするとどのようなことを教えていただけるのかをよくご存じの、地域の方に相談することが欠かせません。このように学校と地域をつなげてくださる地域コーディネーターのお仕事を、昨年度に引き続き、本間 亮一 様がしてくださっています。地域と学校をつないでくださることによって、職員も安心して地域学習の準備を進めることができます。

地域の皆様のご支援をいただきながら、子どもたちの成長のための働きかけができていくことに感謝申し上げます。引き続き、子どもたちのよりよい成長のためにお力添えをお願いいたします。